

## 統計 150 年を記念して『統計博物館』をオープンしました！

総務省統計局統計高度利用特別研究官 佐伯 修司

### 『統計博物館』のオープン

総務省統計局の前身組織である政表課が明治4年（1871年）に太政官正院に設置されてから令和3年で150年が経過しました。これを記念して、令和4年（2022年）1月11日に、統計局統計資料館の展示内容を一新して、統計局統計博物館としてリニューアルオープンしました。



統計 150 年  
記念ロゴ

前身の統計資料館は、統計120年を記念して平成3年（1991年）に開設しました。ここでは、明治から大正時代にかけて我が国の近代統計の発達に寄与した5人の偉人（杉亨二、大隈重信、原敬、福沢諭吉、森鷗外）の統計との関わりをまとめたパネルや明治初期に作成された統計表、第1回国勢調査の調査票、令和2年に100周年を迎えた国勢調査の全てのポスター、コンピュータ導入前の計算機、統計の国際協力関係資料など、様々な資料の紹介が中心でした。

今回リニューアルした統計博物館では、新たに戦後日本の統計制度の再建に寄与した吉田茂、大内兵衛、高野岩三郎の大型パネルを新たに設置するとともに、従来から展示してきた資料の一部を大型化し、専門家の意見を聞いて見やすい配置としました。さらに、150年を通じた統計局を中心とする活動の軌跡をたどる展示（エナジーウォール（タッチパネル）、統計150年企画展示、統計150年の年表等）を行っています。

この30年間に、我が国の経済社会も統計の作成・提供の在り方も大きく変化しました。情報化の進展により多くの人々が容易に統計データにアクセスし活用できるようになるとともに、EBPM（証拠に基づく政策立案）の観点から、統計データの積極的な利活用が求められており、統計の重要性がますます高まっています。また、多くの統計調査で、オンライン調査の導入により調査方法が多様化しています。

統計博物館は、統計の黎明期と戦後の再建期に統計を発展させてきた偉人たちの功績を振り返りその熱い思いに触れていただき、統計がいつの時代も社会経済の発展を支えてきたことを知ってもらうとともに、統計ができる過程についても理解を深め、統計データに親しみを持ってもらうことを目的にしています。機会があれば、是非足を運んでください。

直接来るのは大変という方は、統計局ホームページで、バーチャル統計博物館として、統計博物館で展示している内容の一部を紹介していますので、まずはこちらを御覧いただければと思います。

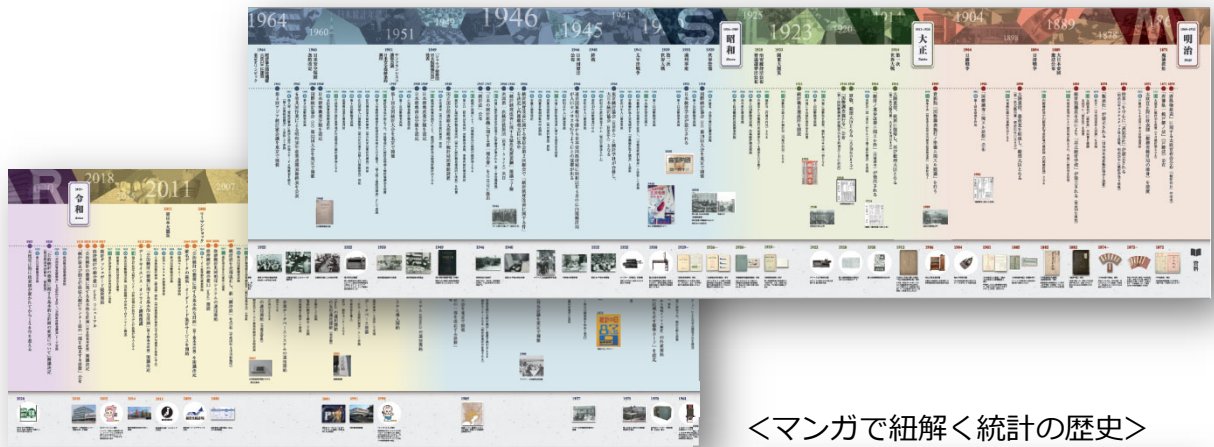
<統計150年ポータルサイト（統計博物館）URL>  
<https://www.stat.go.jp/museum/toukei150/>





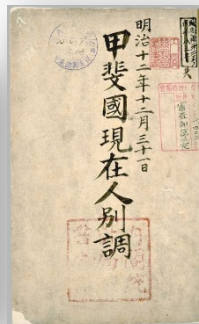
バーチャル統計博物館の主な掲載内容②

<統計 150 年の年表 (明治~令和)>



<マンガで紐解く統計の歴史>

<デジタル統計史料>



総務省統計局 統計博物館

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎敷地内  
 電話：03-5273-1187 メール：stat\_museum@soumu.go.jp  
 URL：https://www.stat.go.jp/museum/index.html

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

[休館日] 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日  
 年末・年始(12月29日~翌1月3日)

ACCESS

- 地下鉄**
  - ・都営大江戸線 「若松河田」駅(河田口)から徒歩約5分
  - ・東京メトロ東西線 「早稲田」駅(2番出口)から徒歩約15分
  - ・東京メトロ副都心線 「東新宿」駅(エレベーター口)から徒歩約10分
- 都営バス**
  - ・JR新大久保・大久保駅から 「新橋駅前」行き「飯田橋駅前」行き(約10分)  
 国立国際医療研究センター前下車すぐ



(令和4年3月14日)